

全教職員が主体的に子どもを育む春日野教育

【春日野小学校教育目標】

進んで学び考え、自分の未来を創造する子の育成

【学校経営方針】

取組の継続と指導力向上を遂行し、子ども一人一人を大切にするチーム春日野

本校の子どもは、素直で、与えられた課題に対して真面目に取り組むが、主体的に学習したり行動したりすることが苦手であり、基礎学力、特に言語能力の未定着により、学力向上に至りにくい実態がある。

このような子どもに生きる力を育み、地域に誇りをもって次代と自らの未来を創造することができるようにするためには、子どもの実態分析に基づいた取組とその改善、「言語能力」に焦点を当てた取組を継続することによるコミュニケーション力の育成、キャリア教育の充実が必要である。また、「家庭学習の手引き」を活用して自学自習を習慣化することで、学びの基本となる姿勢を育むことも重要である。

そこで、我々教職員は職責を自覚し、教育の質の向上に努めるべく、「取組を継続し効果を検証すること」、「学習効果を最大化するためのカリキュラム・マネジメントを確立し、子どもが主体的に学ぶ授業への改善という視点から校内研修・研究協議を充実させること」(PDCA)に取り組む。また、我々教職員自身の人権意識と社会性も引き続き磨いていく。

校種間での連携、関係機関との連携を基に、子どもが安心して学べる春日野教育を展開する。

【目指す子どもの姿】

～自分・学校・地域に誇りをもつために～

かんがえる子

すすんでする子

がんばりとおす子

のびのびいきいきげんきな子

【取組の柱】

知「確かな学力」の育成

- 学力実態分析の活用と授業改善
- 「めあて」に応じた「まとめ」・「振り返り」の徹底
- 確かな言葉の力の育成
- 学校図書館の活性化
- 少人数制・教科担任制による学習の充実
- 英語教育と探究活動の充実
- 「家庭学習の手引き」の活用と家庭学習の定着
(9年間を見通した自主学习ノート)
- 中学校ブロック3校の連携・保小連携の推進

徳「豊かな心」の育成

- 同和問題指導の実践と共通理解
- 人権タイムの充実と
生き方探求パスポートの活用
- 地域に誇りがもてる樹学習・生活科
- 道徳教育の充実
- 情操教育の充実(伝統文化を通して)
- 規範意識の育成(あいさつの励行)
- 支え合い高め合う集団づくり

体「健やかな体」の育成

- 基本的生活習慣の確立
- 体力と体感の向上
- 保健教育の充実(生活調べの活用)
- 薬物乱用防止教室実施の徹底
- 安全教育の充実(避難訓練の充実)
- 食に関する指導の推進

共に高め合う「チーム春日野」

安心できる学習環境

- ・子どもの命を守り切る体制
- ・秩序、規律と思いやりのある学級、学年、学校づくり
- ・見通しがもてる学習活動(授業のユニバーサルデザイン化、ノート作り、自主学习)
- ・わかる授業(学力実態分析、教材研究、教材準備、教育支援との連携)
- ・共通理解と継続
- ・子どもの「困り」に対する支援の推進

高め合い信頼し合う教職員集団

- ・学年組織の充実
- ・報告・連絡・相談の徹底と情報共有
- ・子どもや保護者の手本となる社会人の姿
- ・見通しをもち、優先順位と効率を意識した仕事
- ・人権意識・相手意識の向上
- ・OJTを意識した教職員集団(何でも話せる、聞ける、教え合える、助け合える)

家庭・学校運営協議会・関係機関との連携